

善行 心れあい だより 第7号



発行 2019年12月25日
編集 善行地区郷土づくり推進会議
広報部会
事務局 善行市民センター
〒251-0871 藤沢市善行1-2-3
TEL 0466-81-4431
FAX 0466-81-4441

地域活性化部会

地域活性化事業

ふじさわ元気バザールWith

善行マルシェ

善行駅へと続く歩道の拡幅工事と駅前広場の再整備など、駅東口周辺のバリアフリー化工事が2019年3月末に完成しました。その完成披露と合わせ、ふじさわ元気バザール実行委員会、善行駅前新栄会の協力のもと「ふじさわ元気バザール」善行マルシェ」を6月1日に開催しました。

当日は、善行駅前新栄会から各種物販・飲食等の店舗が12ブース出店し、販売を行いました。また、アトラクション・イベントとして、サッカーチームの藤沢Unitedによる練習体験、メルシャン(株)藤沢工場によるワインセミナー、藤沢翔陵高等学校・少林寺拳法藤沢善行スポーツ少年団による演武発表、聖園女学院中学校・高等学校によるアカペラコーラス発表などが行われました。また会場内でのバルーンアートには、開催中ずっと子どもたちが列を作るなど、快晴の中たくさんの方々が賑わいました。



エノシマトレジャリー



エノシマトレジャリーというイベントが2月9日～3月31日の日程で開催され、他地区からの参加者も含めて、約6,000人の方々が参加しました。

このイベントは、リアル宝探しという参加型のイベントで、江ノ島エリアと藤沢市の他のエリアを組み合わせて、2エリアで同時にそれぞれの展開で実施し、謎を解きながら答えを探していきます。

今回は、善行地区がもう一つのエリアとして選ばれ、開催期間中は多くの参加者で賑わい、特に土日には多くの家族連れや子どもたちが善行を訪れ、クイズを解きながら歩いている姿を見られた方も多いのではないのでしょうか。

参加者については、このイベントで初めて善行地区を知った方・訪れた方も多く、善行地区がどういったところかを知ってもらおうよい機会になりました。

いっから 地域活性化について

善行市民センター・公民館の建て替え工事や駅周辺のバリアフリー化工事、県立体育センターの建て替え工事など、善行地区ではいろいろな場所が新しく生まれ変わります。

また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地として県立体育センターが候補地になっていることから、善行地区では今後、海外の方々や他の地域の方々を訪れる機会が増えると考えられます。

こうした事業・イベントなど絡め、他の地域の方々に「善行地区がどういったところなのか」を知ってもらう機会をより多くつくるとともに、より一層、地域の皆さんと情報を「共有」し、アイデアを「共創」することで、善行地区の活性化につなげていきたいと考えています。



「キュンとするまち。藤沢」
公式マスコットキャラクター
ふじキュン♡

地域福祉部会

「支え合いの地域づくり」を目指し、活動を行っています。活動の基本は、自治会・町内会等を中心とし、小さな単位で行われる様々な取組に対して支援を行い、善行地区全域に取組を広めていくことです。地域の『わ』を広げていきますように。

現在の活動

1. 善行地区の福祉における課題を知る

今年度も善行地区協議体「みまもり善行」による「コミュニティ・カフェ」(8回目・9回目)の開催により、地域の意見・意向の聞き取りを行います。

◇八洲台地区の

「コミュニティ・カフェ」

10月19日開催・26人の参加

「」で出た意見・意向を受けて今後の進め方を協議していきま

《主な意見等》

- ・人が集まる場所が必要
- ・各種イベント・参加者が固定化
- ・顔の見える関係づくりを
- ・ちょっとした相談の場を
- ・坂が多く移動が大変・・・など



八洲台コミュニティ・カフェの様子

2. 【終活セミナー「入門編」

《元気なうちに

準備しておくべきこと》

福祉講演会として、「終活」についてのセミナーを7月13日、善行公民館にて開催しました。

講師

黒坂由美子さん「医療について」
古岡孝広さん「財産について」

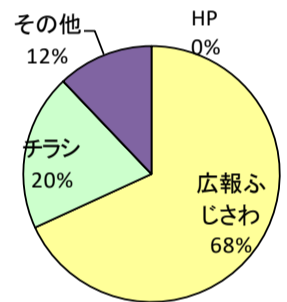
当日は96人と多くの人が集まり、熱心に聞き入っていました。質問も活発に行われ、充実した意見交換ができました。参加者に記載いただいたアンケート・意見などの主な内容は次の通りです。

終活セミナー「入門編」アンケート結果

アンケート回収数 83 枚

講座をどこで知りましたか

広報ふじさわ	62
チラシ	18
ホームページ	0
その他	11

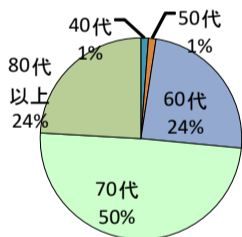


講座の満足度

非常に満足	29
やや満足	34
どちらともいえない	3
やや不満	0
非常に不満	0
未回答	17

また参加したいか

大いにそう思う	59
ややそう思う	15
どちらともいえない	3
あまりそう思わない	0
まったくそう思わない	0
未回答	6



年代

15歳以下	16~19	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
0	0	0	0	1	1	20	41	20

性別

男性	26
女性	57

居住地(善行地区内・外)

内	55
外	28

職業

学生	0
勤労者	6
無職	64
その他	11
未回答	2

- 講演の内容について
 - ・かかりつけ医が必要。(類似意見17)
 - ・昔と変わっている部分が参考になった。(類似意見4)
 - ・終活について家族に伝え、話し合う必要を感じた。(類似意見4)
- 次回の内容の希望について
 - ・終活ノートの書き方(類似意見4)
 - ・相続について詳しく(類似意見4)
 - ・地域医師と意見交換したい。(類似意見2)
- ・在宅介護の話 他



大盛況だった「終活セミナー」

☆終活セミナー第2弾「続編」企画

終活セミナー第2弾として、「続編」の開催を企画中です。

◇企画の要点

- ①市民センターまで来るのが困難な高齢者の方に配慮し「出前講演」とし、石原谷や乾塚、立石の市民の家での開催を検討しています。

- ②「続編」のテーマは(1)終活ノートの書き方、(2)かかりつけ医について、(3)ACP・家族や医療機関との「人生会議」などを考えています。

- ③質問時間を多く設けたいと考えています。

※各市民の家での開催・詳細については、各自治会・町内会の回覧にてご案内いたします。

高齢者等 移動支援部会

「住み慣れた環境を変えることなく、日常生活を元気で過ごせるために」と、足となる移動手段の確保をと考えて、地区住民のアンケートを実施し集計しました。結果を分析して、市への提言を4項目を掲げ提出しました。今後、市を通じて交通事業者と協議を進め、バス路線の改良に向け取り組んでいきます。また、この状況については、善行地区全体集会で報告したいと思っています。

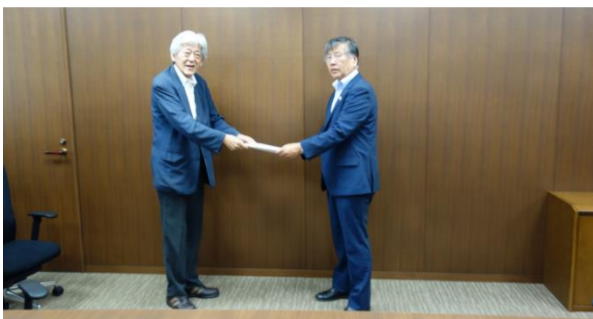
現在の活動

「西部地区における交通不便解消と高齢者等の移動支援に関する提言書」の提出

高齢者等移動支援部会では、西部地区における交通不便解消と高齢者等の移動支援に関する提言をまとめ郷土づくりの推進会議から市に対する「提言書」として提出しました。提言書は提言の要点と、アンケート結果分析とで構成し、7月31日に藤沢市長に提出しました。



要旨説明後、鈴木市長に提言書をお渡ししました。



善行西部地区における交通不便解消と
高齢者等の移動支援に関する提言書

2019年7月31日

善行地区郷土づくり推進会議
高齢者等移動支援部会

●提言の要点

1. 朝の時間帯の増便

運行本数と運行時間帯について満足度が低いバス利用に対して、朝「8～10時台」の増便を、お願いいたします。

現状では、ほとんどの方が自家用車・自転車・徒歩のいずれかで移動し、バス利用は16%にとどまっております。65%の方が不満に思っています。一方、「もし改善されたら？」という問いに対し、「改善されたら利用する」という回答が73%となっております。

移動の目的は「通勤・通学」が36%、「買い物」が41%で目的地に向かう時間帯となる「8～10時台」に増便要望が集中しています。この時間帯に増便されれば、バスを利用する人が大幅に増加すると思われる。

さらに、高齢化率（約27%）の高い善行地区においては、今後自動車運転免許の返納者が増えることも予想され、バス利用も16%からさらに増えると思われる。

2. 藤沢駅～荏原工業団地

（藤35・45系統）の路線を

「善行駅」まで延伸

このアンケートでは、行先を善行駅、藤沢駅にしてほしいと多く

の人が要望しています。また、藤沢事業所（荏原製作所）のヒアリングにおいて、藤沢事業所への来客および社員にとって、善行駅～荏原工業団地の路線は有効であるとの意見を受けています。藤沢駅～荏原工業団地の路線を「善行駅」までに延伸することが一つの解決策と考えます。

3. 辻堂駅方面への

バスルート新設

行先の要望として最も多い、辻堂駅方面へのバス路線の新設を要望いたします。

辻堂駅周辺商業施設への買い物や大規模病院への通院など、利便性の向上を要望します。また、若い住民が多いココタウンヒルトップマリナー自治会、ココタウンヒルトップアベニュー湘南藤沢自治会からは通勤・通学としての利用も想定されます。

4. 善行駅における

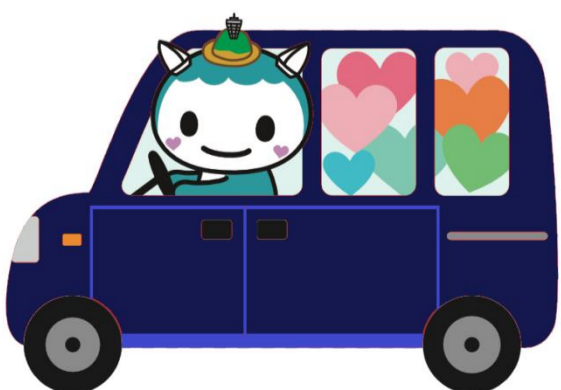
電車とバスの連絡に配慮

小田急電車からバスに乗り換える際、寸前でバスが発車してしまう、次のバスを待つより歩いた方が早いという意見が多いので、電車の時刻表に合わせた、バスの発着についてのご配慮をお願いいたします。

●今後の進め方

今後は、提言書をベースに藤沢市（都市計画課）・交通事業者（神奈川中央交通）と善行地区郷土づくり推進会議・高齢者等移動支援部会で協議を進めてまいります。

また、今回は、福祉政策の側面からも高齢者等の移動支援が促進されるよう、「高齢者いきいき交流助成券」の、のりあい善行への利用についても併せて提言を行いました。こちらについては助成券制度そのものの見直しも検討の俎上にながっていることと、違った切り口での要望・提言等を今後検討していく必要があると思われる。



善行市民センター・公民館

改築第1期工事について

善行市民センターから

日頃より、善行市民センター・公民館の利用に際し、皆さまのご理解ご協力をいただきありがとうございます。ごさいます。

さて、改築工事（第1期）につきましては概ね計画通りに進行しており、年内（12月）に竣工する予定です。竣工後、現庁舎からの移転作業や機器の調整、最終確認などを行い、2020年1月から、窓口業務・諸室貸出業務を開始します。

新しい市民センター・公民館は談話室が一つ増え、第1・第3談話室として貸出されるほか、簡単な打ち合わせなどで使えるオープンスペース「コモンスペース」を複数備えます。

また、保育室や授乳室など今までなかった部屋も新規に設置されるほか、市民図書室も広くなり、より使いやすく、快適な施設となります。

ホールは従来「体育室兼」としていましたが、講演会や発表会、集会などの文化活動に適した「多目的ホール」として設置されます。※体育室は、第2期工事で建築する「健康プラザ」に設置され、2022年4月にオープンする予定です。



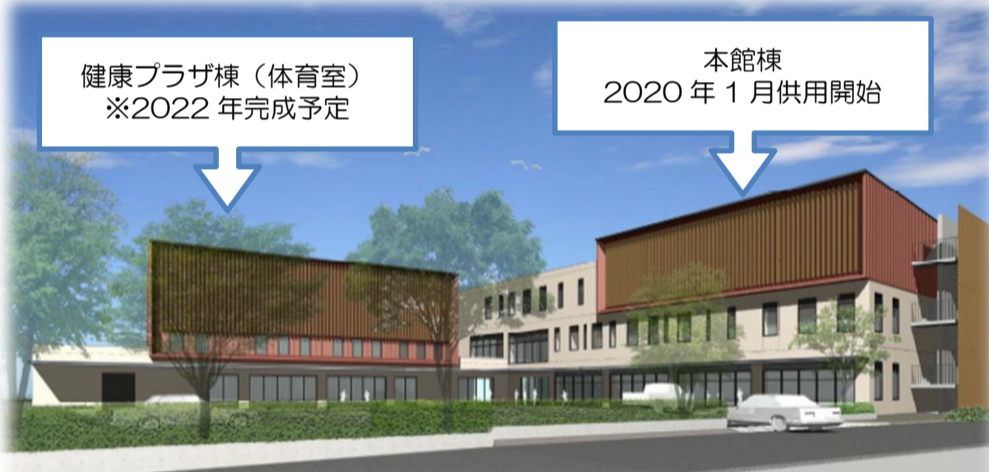
12月以降の予定

地域の主な事業

※ 予定は変更になる場合があります。

12月	21日	ふれあいしめ飾りづくり
1月	4日 22日	新春の集い 福祉講演会
2月	8日	善行地区全体集会
3月	10日 21日	楽しく食べよう会 おぼあ市場

問い合わせ先：善行市民センター地域担当



完成間近の新善行市民センター・公民館

善行駅周辺地区の

道路バリアフリー化

工事（令和元年度）

のお知らせ

道路整備課から



善行駅西口広場改良工事の完成イメージ図

善行駅周辺地区の道路バリアフリー化事業にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

善行駅西口駅前広場改良工事を11月から行います。工事中は、バス・タクシーの乗降場所の変更や交通規制などをご利用される方には、ご不便をお掛けいたしますが、安全を最優先に工事を進めてまいりますので、ご協力をお願い

いたします。なお、乗降場所の変更時期や変更場所等の詳細につきましては、現地の工事案内板でお知らせいたします。

今年9月に完成した善行長後線（善行西口駅前広場から石名坂善行線までの区間）の歩道に手すりや視覚障がい者誘導用ブロックの設置工事を行う予定です。

また、善行駅東側の神奈川県立体育センター西側にエレベーターを設置する工事も順調に進んでいます。

【編集後記】

◇善行駅東口に続き西口もバリアフリー化が進んでいます。善行地区に住まう一人人として、富士山が綺麗なことと本を読む環境に恵まれていることに感謝しています。◇善行市民センターには市民図書室があり、少し足を延ばせば湘南大庭市民センターにも図書室が、また藤沢駅前や湘南台には図書室があります。◇家族で図書室・図書館に行きましょう。そしてお子さんに聞いてください。「どんな本だったの」「そっなの」と会話も弾むことでしょう。本好きな子どもには広がる未来があります。◇善行駅に向かう坂を上る時、司馬遼太郎の「坂の上の雲」の様に明るく広がる未来を信じて。（勝）

